

新約聖書は何を教えているか・メシアは2回来る

1. 新約聖書は、その冒頭で、何と言っているか

マタイ 1 : 1 「系図 イエスの キリスト、ダビデの子、アブラハムの子」

- (1) イエスは、旧約聖書で預言されていたキリスト（メシア）である
- (2) イエスは、ダビデの子孫である = 王権を持つ（イザヤ 11 : 1~10）
- (3) イエスは、アブラハムの子孫である = アブラハム契約の担い手
 - ① 創 22 : 18 あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受ける
 - ② ガラ 3 : 16 約束は、アブラハムとその子孫に告げられました。神は、「子孫たちに」と言って多数を指すことなく、一人を指して「あなたの子孫に」と言っておられます。それはキリストのことです。

2. 旧約聖書では、キリスト（メシア）について、どのように預言していたか

- (1) メシア預言には二つのタイプがある ⇒ ラビたちは、メシアは二人いる、と考えた
 - ① 苦難を受けて死ぬが、復活するメシア（イザヤ 52 : 13~53 章）
⇒ 名前はわからないので、ラビたちは、「ヨセフの子」（創世記で苦難の人の典型）と呼んだ
 - ② 全世界の王となるメシア（イザヤ 2 : 2~4, 11 : 1~10）
⇒ ダビデ王の子孫なので、ラビたちは、「ダビデの子」と呼んだ
 - ③ ヨセフの子とダビデの子の関係について、ラビたちの説明は・・・
ヨセフの子は苦難を受けて死ぬが、ダビデの子が来てヨセフの子を助けて復活させ、全世界を支配することになる
- (2) やがて、メシアと言え、ダビデの子を指すようになった。イエスの公生涯において、民衆がイエスに向かって、「ダビデの子」と呼びかけた（マタイ 20 : 31, 21 : 9）のは、そのためである。

3. 旧約聖書でメシアについて預言されていたことで、イエスに該当することは？

- (1) 処女から生まれた（創3：15「女の子孫」、イザヤ7：14）
- (2) ベツレヘムで生まれた（ミカ5：2）
- (3) 苦難を受けて死んだ（イザヤ52：14～53章）
- (4) 復活した（詩16：10～11、使徒2：24～32）
- (5) 昇天し、神の右に座した（詩110：1、マタイ26：64、使徒1：9、2：33）

- 3段階の高揚 イザヤ52：13 「彼は高められて 上げられ、きわめて高くなる」・・・復活・昇天・神の右に着座

神の右に座す＝神と同等の地位。

イザヤは、まず52：13でメシアの高揚を預言し、そのあと14節から53章にかけて、高揚に至る経緯としてメシアの死を預言した。

- 詩80篇にも、神の右におられるメシアが登場する。詩80篇は、将来のことである。再臨の直前に起きるイスラエルの民族的救いの預言である。その内容は、イスラエル民族がメシアに戻って来てくださいと願う祈り。17節「あなたの右にいる人」とは、あなた＝父なる神、その右にいるのは、メシアである。

これら(1)から(5)の旧約聖書の預言が、イエス一人において成就した。

ユダヤ教のラビたちが想像していたような二人のメシアによったのでは、ない。

4. 新約聖書のメッセージ・・・メシアは二人ではない。メシアは一人である。その一人のメシアが、2回来るのである。

- (1) 1回目は、苦難を受け死ぬために来た。すべての人の罪の身代わりとなって死んだ。そして復活し、天に戻った。
- (2) 2回目は、将来、帰って来て、メシアの王国を建てる。

□メシアが来ることを、「来臨（らいりん）」という。そして1回目を「初臨（しょりん）」、2回目を「再臨（さいりん）」と呼ぶ。次の20の箇所は、それぞれ、初臨か、それとも再臨か？

また、再臨は2段階で起きる。第一段階は、【空中再臨（教会の携挙）】。その後、大患難期に入り、その末期に、第二段階の【地上再臨】。再臨の箇所では、どちらの段階か？

1. マタイ 1：21 この方がご自分の民を罪からお救いになる
2. マタイ 5：17 律法や預言者を廃棄するためではなく成就するために来た
3. マタイ 9：13 わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くため
4. マタイ 10：23 人の子が来るときまでに、あなたがたがイスラエルの町々を巡り終えることは、決してありません。
5. マタイ 10：34 わたしは、平和ではなく剣をもたらすために来ました
6. マタイ 15：24 わたしは、イスラエルの家の失われた羊たち以外のところには、遣わされていません
7. マタイ 16：27 人の子は、やがて父の栄光を帯びて御使いたちとともに来ます
8. マタイ 19：28 人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます
9. マタイ 20：28 人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来た
10. マタイ 24：27 人の子の到来は、稲妻が東から出て西にひらめくのと同じようにして実現する
11. マタイ 24：30 人の子のしるしが天に現れます。そのとき、地のすべての諸族は胸をたたいて悲しみ、人の子が天の雲のうちに、偉大な力と栄光とともに来るのを見るのです

12. マタイ 24：36～44 ただし（ところで）・・・人の子の到来はノアの日と同じように実現する・・・人の子は思いがけない時に来る
13. マタイ 25：31 人の子は、その栄光を帯びてすべての御使いたちを伴って来るとき、その栄光の座に着きます
14. マタイ 26：31～32 イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはみな、今夜わたしにつまずきます。『わたしは羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散らされる』と書いてあるからです。しかしわたしは、よみがえった後、あなたがたより先にガリラヤへ行きます。」
(ヨハネ 21章、マタイ 28：16～20、Iコリ 15：6)
15. マタイ 26：63～64 大祭司はイエスに言った。「私は生ける神によっておまえに命じる。おまえは神の子キリストなのか、答えよ。」イエスは彼に言われた。「あなたが言ったとおりです。しかし、わたしはあなたがたに言います。あなたがたは今から後に、人の子が力ある方の右の座に着き、そして天の雲とともに来るのを見ることとなります。」
16. ヨハネ 14：3 わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます
17. Iテサ 1：10 御子が天から来られるのを待ち望む
18. Iテサ 2：19 私たちの主イエスが再び来られる
19. Iテサ 4：15～17 生きている私たちは、主の来臨まで残っているなら、眠った人たちより先になることは決してありません。すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。
20. Iコリ 15：51～52 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。